

# 「Society 5.0」、「SDGs」って何？

12月17日（水）

最近の気になるワードを2つ掲載します。大学の推薦入試では、「Society 5.0」や「SDGs」について聞かれている大学があるようです。特に、教育系の大学では多いようです。本校でもまもなく3年生の面接練習も始まるようです。「Society 5.0」とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のことです。「5.0」があればもちろん「1.0」もあります。狩猟社会（Society 1.0） 農耕社会（Society 2.0） 工業社会（Society 3.0） 情報社会（Society 4.0）に続くのが、「Society 5.0」です。また、「SDGs」持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標です。最近、背広の左胸に右のようなピンバッジ(胸章)を付けている人を見かけませんか？「SDGs」のピンバッジなのです。



## 避難訓練計画～クマ出没時の対応～

- 1 ねらい ①火災や水害その他危険が及ぶなど安全確保が必要な場合に備え日常の予備訓練を行うとともに、生徒を迅速かつ安全に避難させるようにする。  
②訓練を通して災害に対する意識を高め、予防への心構えと沈着、機敏、協力の心情を育て、常に統制と秩序ある行動ができるようにする。
- 2 日時 2025年 12月17日（水）掃除の時間（14:40～）
- 3 避難場所 玄関ホール
- 4 避難訓練 校内テニスコートにてクマが目撃された
- 5 指導内容 ①学校で災害や安全確保が必要な場合が起きたら、どうするかについて考えさせる。  
②火災や水災その他危険が及ぶ場合の恐ろしさや避難訓練の大切さを理解させる。  
③避難訓練の意義を知り、真剣に訓練する心構えを培う。  
④指示に従って規律正しい集団行動をとる大切さを理解させる。
- 6 避難方法 ①放送指示を聞く。  
②避難場所及び避難経路を確認する。  
③掃除用具はそのままにし、何も持たずに移動する。  
④逃げ遅れた仲間を見たら、すぐに教師に知らせる。  
⑤速歩で、前の人を追い越さない。無言で足下に注意して歩く。  
⑥階段での混雑に注意し、順序よく速やかに降りる。  
⑦教師の誘導なしで避難する。途中から教室に戻らない。  
⑧避難場所に着いたら、決められた隊形に並んで静かに座って待つ。
- 7 教師心得 ①生徒が全員教室から出たか確認する。  
②生徒名簿・出席簿を持参し、生徒を引率する。  
③身体不自由の生徒には、特に注意をはらう。  
④教師は先頭になり、最後尾の生徒に注意をはらいながら避難する。

### ○避難訓練（クマ出没時の対応）の様子



【参考】秋田県男鹿市教育委員会\_クマ出没対応マニュアル

## クマ出没時の対応チェック表

子どもの安全を最優先に!

### クマの出没情報

#### 緊急対応が必要か

必要なし

- 関係機関との情報共有
- パトロール等の依頼

必要

- 学校の近く(学区内)に出没した
- 通学路に出没した

今回の避難訓

登 校 前	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/>職員間の情報共有と対応の協議</li><li><input type="checkbox"/>関係機関への連絡(警察・市教委)</li><li><input type="checkbox"/>通学路の安全確認<ul style="list-style-type: none"><li>・関係機関によるパトロール(市教委が依頼)</li><li>・職員による車での巡回</li></ul></li><li><input type="checkbox"/>保護者への連絡(緊急メールで連絡)<ul style="list-style-type: none"><li>・目撃情報があった場所等</li><li>・保護者送迎、自宅待機等対応を指示</li><li>・登校時の注意事項</li></ul></li></ul>
在 校 時	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/>職員間の情報共有と対応の協議</li><li><input type="checkbox"/>児童生徒の安全確保と安全指導<ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒の所在確認</li><li>・屋内への避難</li><li>・校舎一階の施錠(状況に応じて窓の施錠も)</li><li>・屋外での活動の制限(体育、休み時間、部活動)</li><li>・在校時及び下校時の注意事項を指導</li></ul></li><li><input type="checkbox"/>関係機関への連絡(警察・市教委)</li><li><input type="checkbox"/>通学路の安全確認<ul style="list-style-type: none"><li>・関係機関によるパトロール(市教委が依頼)</li><li>・職員による車での巡回</li></ul></li><li><input type="checkbox"/>保護者への連絡(緊急メールで連絡)<ul style="list-style-type: none"><li>・集団下校、引き渡し、部活動休止などの連絡</li><li>・登校時の注意事項</li></ul></li></ul>

※安全が確保されるまで上記の対応を継続する。

ひなんくんれん      じこてんけん  
避難訓練での自己点検

しず      ほうそう      き 静かに、放送を聴いた	○      △      ×
お      おさない	○      △      ×
は      はしらない	○      △      ×
し      しゃべらない	○      △      ×
も      もどらない	○      △      ×
しずか      せいれつ      にんずうてんこ      う 静かに整列し、人数点呼を受けた	○      △      ×

避難訓練のふりかえりをしましょう。（今回は掃除時間の避難訓練で、教室以外の場所にいた人も多かったと思いますが、冷静に行動できましたか？）

.....

.....

.....

○自分の身を守り、クマを寄せ付けないための方策

- ・登下校時に音の出るものを携行する。（クマ鈴、自転車のベル等）
- ・食べ物を持ち歩かない。
- ・1人で行動せず、友達と一緒に行動する。
- ・クマが近くにいるサイン（足跡など）を見つけたら、その場を離れる。

○クマに出会った際の対処法

- ・ゆっくりと後ずさりして逃げる。

- ・カバン等の持ち物を置いて、クマが気をとられている隙に逃げる。
- ・大声で叫ばない。(クマが興奮する)
- ・石や棒を投げつけない。(クマが興奮する)
- ・「こども 110 番の家」や商店、公共施設等に逃げ込み、保護してもらう。

○クマに襲われそうになった際の対処法

- ・両手を首の後ろに組んで、顔を伏せる姿勢をとる。(頭や顔を守る)